



～東日本大震災の経験から学び次の災害に備えるために～

研修で学ぶことは？

- …被災地に行くべきかどうか / 被災地に到着したら何をどのようにすればよいのか
- …クリスチャンとして様々な宗教観や価値観の中でどのように振る舞えばよいのか
- …危機的状況の中で人々の心理、スピリチュアリティはどのようにになっているのか
- …具体的な心のケアの手法、働きの評価と継続的支援に向けたプランニングの実際
- …ケアの対象は、被災者だけではない。ケア提供者そして自分とどう向き合うか
- …バーンアウトせず、継続的に支援するために…どのように終わらせ、どのように続けるか

コースの概要： 国際標準のプログラムから体系的に学ぶ

災害発生時に、どのように人々に向かい合うか。被災者、災害対応を行う警察、消防、自衛隊員、行政担当者、様々な団体の担当者、ボランティア…そして自分。大きなストレスと様々な危機的状況の中で、こうした人々の心とスピリチュアリティに、クリスチャンとしてどのように向かい合うのか。このコースでは、幅広い経験に基づいた体系的な学びを通して、「災害」そのもの、「人々の状況」を理解し、災害の影響下にある人々の「ストレス」をマネジメントし、様々な宗教観や人間観を持つ人々の中で、効果的な心のケア・スピリチュアルケアを提供し、危機的状況の中で、その人、そのコミュニティらしい回復への道筋をつけて行く、対応能力の向上を目指す事を目的としています。このコースは国連職員や航空関係者向けに導入されている ICISF (International Critical Incident Stress Foundation) の緊急時ストレスマネジメントプログラムと共通の内容をもっています。

コースの参加者：

このコースに出席が期待される参加者は、大きなストレスの中にあり、トラウマを持つ被災者に対して、心のケア・スピリチュアルケアを提供するスキルを向上させたいと望んでいる人たちです。

コース修了にあたって：

出席者は、期間中の全日程の参加が求められます。全日程参加者のみ修了証の発行対象者となります。全日程の学びを終えた方は、修了証発行申請書にサインし、終了後概ね3か月以内に、被災地での実践活動に関するレポートの提出を行います。レポートが受理された段階で修了証の発行を行います。

日時：2013年2月5日(火)午後1時～7日(木)午後4時

会場：成田ビューホテル

参加費：25,000円 (テキスト代、宿泊費、食費含む)

申し込み方法：裏面の申込書により、2/1(金)までに DRCnet 事務局にファックスまたはメールでお申し込みください。定員 35 名 (先着順)。

問い合わせ先：DRCnet 事務局 tel:03-5577-4824、fax:03-5577-4865

メール：info@drcnet.jp



特別講師：ケビン・エラズ師 (Dr. Kevin Ellers)

救世軍アメリカ中央軍団(シカゴを中心としたアメリカ中央部)の災害支援コーディネーター。コンパッション・ケア(ホスピスケア等を行う)協会代表。イリノイ州 警察友愛会 協力チャプレン。ICISF(インターナショナル・クリティカル・インシデント・ストレス財団)教官。オリベット・ナザレン大学非常勤教授、アメリカ・クリスチャン・カウンセラー協会 危機対応トレーニングチームメンバー。危機への対応、災害、チャプレン、パストラル・ミニストリー、結婚および家族療法、社会福祉に関する広範な経験とトレーニングを受けており、これらに関する著書、講演も多数ある。主な著書に、「The First 48 hours -最初の48時間- 災害初期のスピリチュアルケア提供者のために」(現在和訳中)

主催：DRCnet(東日本大震災救援キリスト者連絡会)

共催：JEA(日本福音同盟) 援助協力委員会、救世軍、クラッシュジャパン

日本での研修実施に際して：

- *米国では、災害発生時に教会が中心となって、多くのボランティアを擁し、被災した個人、家族、コミュニティに対する支援を、警察、消防などの公的な立場の人々と共に実施しています。今回の学びは、もともとは上級レベル・コースとして、牧師、チャプレン、メンタルヘルス専門家や訓練を受けた危機管理者が、災害支援活動を行う中で、災害対応者や被災者、またその家族の様々な必要に応じて、効果的な心のケア・スピリチュアルケアを提供するため、またそのためのスキルを向上させる目的でデザインされています。この原則は「危機的災害におけるストレス・マネジメント (ICISF)」で教えられている危機介入原則に基づいています。
- *日本では、米国のようにボランティアや官民の今日協力体制は醸成していませんが、日本の環境に合わせて、災害発生直後から長期にわたる復興期までの過程を通して、適切な心のケア、スピリチュアルケアを提供するための学びができるよう、コース設定を行っています。
- *今回は、日本に特化した内容となっていますが、オリジナルのコース（災害における心のケア・スピリチュアルケアのクラス）を修了し、クラス出席（14時間）を証明する修了書を受け取ることで、権威あるICISFの特別トレーニング・プログラムの1クラスを修了したという資格を取得することができます。日本版研修を修了した後、ICISFによる資格認定を希望される場合の手続きおよび費用については現在確認中です。

コースの目標：このコース修了によって、以下のことができるようになることを目標としています。

- ◆自分自身のクリスチャンとしてのありようと、災害発生時の様々な環境の中で提供される心のケア・スピリチュアルケアに関する学びから、心のケア・スピリチュアルケアを提供する人物としての役割を明確にする。
- ◆災害発生直後から復興期に至るまで、どの様な立ち位置で、また、チームの一員として、心のケア・スピリチュアルケアの提供者としての役割と働きを体系的に理解する。
- ◆災害が人間の身体、心理状態、情緒、行動、対人関係、また霊性にどのような影響をもたらすのかを理解する。
- ◆被災者、災害対応者、復興に携わる人々に心のケア・スピリチュアルケアを提供する。それは、多岐にわたって変化し続ける災害後のトラウマに対して、多面的な心のケア・スピリチュアルケアによってその人らしい生き方への道筋をつけて行く働き(危機介入)によってなされる。
- ◆トラウマや災害という状況の中で、自分が心のケア・スピリチュアルケアを提供する者として適しているかどうか、自己評価する。
- ◆被災地で奉仕する間、自分自身の心の健康、身体的健康、霊的健康を保つため、自己ケアの計画を立てる。

災害対応チャプレン養成コース 第1回研修会参加申込書

※ 全日程参加が原則です。部分参加の場合は修了証発行の対象となりません。
参加費は当日ご持参ください。（2013/2/1 以後のキャンセルはキャンセル料金が発生します。）

| | | |
|----------|----------------|---|
| ファックス送信日 | 2013年 月 日 | |
| フリガナ | | |
| 申込者氏名 | | |
| 所属 | | |
| 連絡先 | 住所 | 〒 |
| | 電話番号 | |
| | e-mail (必須) | |
| 備考 | | |

※ 個人情報について 個人情報は、このフォーラムのためにのみ用い厳正に管理します。フォーラム中またはその後の連絡、ご案内、交流の目的のために、主催者は上記に記入された個人情報を保存し、この目的のために利用させていただく場合があります。

申込書は下記に、2月1日（金）までにお送りください。

**DRCnet 事務局 ファックス：03-5577-4865
メール：info@drcnet.jp**